

第2学年
教科別授業概要（シラバス）
今年度の授業の計画と内容

令和6年度
京都市立七条中学校

☆學習目標

☆学習を進めるにあたって

- ① コミュニケーション能力を高め、自他を尊重する心を身につける。
- ② 社会的生活における自立へのつなぎとなる学習の基礎基本を身につける。
- ③ 個々の実態に応じたその場その場に応じた課題設定と課題解決に向けた力をつける。

使用 教材	星本教科書、一般図書、検定 本、配布したプリント、その他	持ち 物	筆記用具、ファイル 教科に応じた準備物
学習の 進め方	1, 一斉授業の中で、必要に応じて声かけをする。 2, グループ別学習による、発達別・課題別による		

教科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	漢字の読み書き・いろいろな言葉（尊敬語・謙譲語）・ことわざ・慣用句・四字熟語・百人一首・読書・作文・書写【通年】											
社会	校外学習・日本地理・日本史・京都市内地図・時事【通年】											
数学	計算問題・文章問題・図形問題・暮らしに役立つ数学【通年】											
理科	動物調べ		動物園の不思議	理科室での用具の名前と使い方・簡単な実験・さまざまな観察								
音楽	校歌の歌詞を覚える		名曲の鑑賞 ミュージカル	合唱コンクールの練習		リズムの学習		楽器の名前 オーケストラ		送る会・卒業式・入学式の歌の練習		
美術	学級目標づくり（貼り絵） 学級旗づくり		自画像を描く・動物の模型（理科とのコラボ）			鑑賞		作品展に向けて			カレンダーづくり	
体育	球技大会に向けて（バレーボール、ボッチャ）・ラジオ体操		体力測定・水泳		学校祭体育の部練習		持久走・なわとび		球技（バスケットボール・バドミントン・サッカー・卓球）			
職家	製図・生物育成・リサイクル活動								簡単調理			
	手縫い練習 雑巾づくり	刺し子・献立名	藍染・食品と栄養		アイロン・ミシン		畑で収穫したもので 調理実習		畑作業 スウェーデン刺繍		看板づくり	
英語	アルファベットを書く（a～z、A～Z）・英単語（数字・曜日・月・身体の各部分の名前・色・食べ物・動物など）・ 会話を交えた英語ゲーム・ALTとの簡単な会話【通年】											
自立・生活	生活に必要な知識を持つ（物の値段・お金の計算とおつり・生活に必要な用品・1日の生活・休日の過ごし方・趣味と運動など											
	身の周りの整頓・教室整備・植物の世話・水槽の掃除など【通年】											

第2学年 国語科の学習

☆ 学習目標 ～国語の学習で“めざす”こと

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになろう。文字に対して関心を持ち、字形を整え、文字の大きさや配列などを理解して、楷書や行書で書くことができるようになろう。(知識・技能) (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになろう。目的や場面に応じて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す能力、内容を捉えながら聞く能力を身に付けていこう。目的や意図に応じて、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、構成を考えて的確に書く能力を身に付けていこう。様々な文章を読み、構成や展開、表現から内容や要旨を的確に捉える能力を身に付けるとともに、読書を通して言葉に触れ、ものの見方や考え方を広げていけるようにしよう。(思考・判断・表現) (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、日本の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を培おう。授業に意欲的に参加し、何事も積極的に取り組む姿勢を継続していこう。(主体的に学習に取り組む態度)

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 国語2 [光村図書] 副読本 漢字マスター2年 [学宝社] 積み上げ [明治図書] 国語活用資料集 [新学社]	持ち物	・教科書/ファイル ・赤ペン/蛍光ペン ・国語活用資料集 ・漢字マスター2年 ・書写(教科書・習字道具)
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○漢字スキルの活用、漢字小テストの実施を通して、漢字と語彙力を定着させていこう。 ○授業のめあて・目標を確認し、学習課題を捉え、読解、思考、発表、意見交流、メモを取る等の活動を通して、自分の力を伸ばしていこう。 ○授業や単元の終わりに、学んだことや考えたこと等を書いて振り返ることで、理解を深めていこう。 ○GIGA端末を使い、情報の収集、作成したレポートの保存や交流等を通して学習を深めていこう。 《家庭学習》 ○予習・・・読めない漢字、意味の分からない語句に印をつけながら、教科書を繰り返し音読しよう。 意味の分からない語句の意味調べをしておこう。 ○復習・・・ノートを見直し、授業内容を確認しておこう。 ノートのメモ欄、自学ノートに学習内容をまとめよう。 《定期テスト》 ○漢字の読み書きは完璧にしておこう。語句の意味、文法などを徹底的に覚えよう。 ○授業で取り組んだノート・プリントを参考に、教科書本文を熟読し、内容を理解しておこう。 ○単元プリントや練習プリント等を有効に活用し、たくさんの問題に挑戦し、問題に慣れておこう。		
学習の留意点	○授業中は、よく話し、よく聞き、よく読み、よく書き、前向きな意欲をもって取り組もう。 ○自分の意見を持ち、積極的に発表しよう。意見交流を活発に行い、自分の考えを発表するとともに、友人の考えも取り入れて、自分の考えをさらに深めよう。 ○ノートやプリントは黒板を写すだけでなく、先生の説明や発言内容、友人の意見、調べたこと、疑問に思ったこと、気づいたことなども書いておこう。自分にとっての「宝物」になるようなノートを! ○課題や提出物は期限を守ろう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	見えないだけ <u>広がる学びへ</u> アイスプラネット 枕草子 漢字1 熟語の構成	テスト1	知識・技能	○話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。 ○漢字を適切に読んだり書いたりして、文や文章で使っている。 ○単語の活用や文の構成、話の構成や展開について理解を深めている。 ○類義語や対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。 ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。 ○現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知る。 ○漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書いている。
5				
6	<u>多様な視点から</u> クマゼミ増加の原因を探る 文法1 自立語	テスト2		
7	<u>言葉と向き合う</u> 短歌に親しむ 短歌を味わう			
8	言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語 <u>読書生活を豊かに</u> 読書を楽しむ 翻訳作品を読み比べよう	テスト3	思考・判断・表現	○互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。 ○根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように、文章の構成や展開を工夫している。 ○内容や要旨を的確に捉えている。 ○文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉えている。
9	盆土産 字のない葉書 表現を工夫して書こう 言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・音をもつ漢字			
10				
11	<u>論理を捉えて</u> モアイは語る 根拠の適切さを考えて書こう <u>いにしえの心を訪ねる</u> 平家物語冒頭文 扇の的 仁和寺にある法師 漢詩の風景	テスト4		
12	<u>価値を語る</u> 君は「最後の晩餐」を知っているか 魅力を効果的に伝えよう 文法2 用言の活用 <u>読書に親しむ</u> 研究の現場ようこそ	テスト5	主体的に学習に取り組む態度	○言葉がもつ価値に気付き、漢字を適切に使い、語句や表現に注意して、文章を読んだり書いたりしようとしている。 ○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ○進んで読書をしようとしている。 ○日本の言語文化を大切にして、自分の思いや考えを伝え合おうとしている。 ○授業ノートでは自分なりの考えや学習を深められるようにメモ欄を充実させている。
1	<u>表現を見つめる</u> 走れメロス 文法3 付属語 構成や展開を工夫して書こう 言葉3 話し言葉と書き言葉 漢字3 送り仮名 国語の学びを振り返ろう			
2				
3				

第2学年 社会の学習

☆ 学習目標 ～社会の学習で“めざす”こと

- 社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
(資料の活用の技能)
- 社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的、多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
(社会的な思考・判断・表現)
- 社会的事象についてよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。
(主体的に取り組む態度)

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書	持物	教科書
	地理 「中学生の地理」 帝国書院		・教科書
	歴史 「歴史的分野」 日本文芸出版		・地図帳
	地図帳 帝国書院		・ノート
			・のり ・筆記用具（赤ペンや青ペンを含む）
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておこう。 ○目標を持って授業に参加できるようにしておこう。 ○発問に対して、積極的に考えてみよう。 ○作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにしておこう。 ○積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにしておこう。 ○学習した内容を全体で発表できるように、日頃からまとめておこう。 《家庭学習》 ○復習を大切にし、授業でやった内容を過程で確認しておこう。 ○授業でとった板書内容やメモを整理しておこう。 ○新聞を読み、ニュースなどを見る習慣をつけよう。 ○教科書を必ず開き、内容を声に出して読んでみよう。 《定期テスト》 ○基礎的な内容や意味をまとめて理解しておこう。 ○授業中で行った内容をしっかりまとめ、確認しておこう。 ○グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておこう。 ○時間内で回答できるように、時間を意識して解答に挑戦しよう。		
学習の留意点	○持ち物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ○プリントやノートをしっかりまとめ、先生が話した内容などのメモが取れるように日頃から意識して授業にのぞもう。 ○聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習しよう。 ○授業に集中するために大切なことは何かを日頃から考え、日々の生活をしっかりしよう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	【地理】 世界と比べた日本の地域的特徴	知識・技能	○基本的な語句や内容を理解している。 ○基本的な極や内容を知識として身につけている。	・学習観察（発表） ・定期テスト ・単元課題
5	・自然環境の特色			
6	・人口の特色			
7	【地理】 日本の諸地域	テⅠ	思考・判断・表現	・学習観察（発表・作業） ・ノート ・ワークシート ・定期テスト ・単元課題 ・課題
8	・九州地方			
9	・中国・四国地方			
10	【歴史】 近世の日本	テⅡ	○発問や質問に対して、しっかり考えている。 ○発問や質問に対して、正しい判断をしている。 ○自分の考えをはっきり示している。	・学習観察（発表・作業） ・ノート ・ワークシート ・定期テスト ・単元課題 ・課題
11	・百姓、町人の産業の発達			
12	・幕府政治の改革と農村の変化 ・江戸時代の文化と学問			
1	近代日本と世界	テⅢ	○今まで学んだことを自分なりに理解して記述問題や授業中の発言に生かすことができる。 ○生徒による自己評価や相互理解を通して、自らの作品を客観的に分析し他の作品を通して改善していくことができる。 ○単元のまとめワークシートの記述などで、学習を振り返り、さらに調べたいことやよくわからなかったことを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。	・ノート ・レポート ・定期テスト ・単元課題
2	日本の近現代			
3	・欧米の発展とアジアの植民地化 ・近世から近代へ ・近代国家の歩み ・自由民権運動と国会開設 ・日清・日露戦争とアジアの動き ・近代日本の社会と文化			

第 2 学年 数学の学習

(1) (知識・技能)
数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解すること共に、自称を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
(2) (思考・判断・表現)
数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見出し統合的に・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
(3) (主体的に学習に取り組む態度)
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の家庭を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

☆ 学習目標 ～数学の学習で“めざす”こと

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 未来へ広がる数学 2（啓林館） 副教材 よくわかる数学の学習 2	持物	・教科書・筆記用具
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○ 計算問題を反復練習し、早く正確に解く力をつけよう。 ○ わからない問題でもあきらめずに取り組もう。 ☆ 途中式をしっかりと書くなど、考え方の過程を大切にし、表現する力をつけよう。 《家庭学習》 ○ よくわかる数学・授業ノート・課題プリントを中心に家庭学習を進めよう。 ○ 授業中に間違えた問題を途中式から考えてみよう。 ○ 不得意な範囲の問題は、教科書の例題からやり直してみよう。 《定期テスト》 ○ テスト勉強は ① 基本の確かめ ② 教科書の例題、問、練習問題 ③ よくわかる数学の学習(副読本) ④ 章末問題 の順番で取り組もう。 ○ 授業で解いた問題は分かるまで反復練習しよう。		
学習の留意点	○ ノートを写すとき、必要に応じて色ペンを使おう。 ○ 先生の話や人の発表などは、メモをとりながら聞こう。 ○ わからない問題は必ずそのままにせず、まずは自分でじっくり考え、それでも分からない場合は、先生や友達に聞いて、必ず解決しておこう。 ○ 何度も何度も繰り返し問題を解くことで、習った知識を定着させよう。 ○ 問題を解くときは、途中の考え方も書くようにしよう。		

学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価場面・方法
4	○式の計算	第 1	知識・技能	○ 数学的な基礎知識の必要性和意味を考えようとしている。 ○ 事象を数学化したり、数学的に解釈したり数学的に表現・処理したりする技能が身につけている。	●定期テスト ●課題
5	○ 連立方程式				
6					
7	○一次関数	第 2			
8					
9					
10	○ 図形の調べ方	第 3	思考・判断・表現	○ 数学的な思考力・判断力を身につけ、事象に潜む関係や法則を見出し、数学的な推論の方法を用いて論理的に考察する。	●定期テスト ●課題 ●ノート
11	○図形の性質と証明				
12					
1	○ 場合の数と確率	第 5	主体的に学習に取り組む態度	○ 自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしている。 ○ 数学の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 ○ 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	●課題 ●ノート
2	○箱ひげ図とデータの活用				
3					

第2学年 理科の学習

☆ 学習目標 ～理科の学習で“めざす”こと

(1) (知識・技能)
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) (思考・判断・表現)
観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
(3) (主体的に学習に取り組む態度)
自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 理科の世界2 大日本図書 副教材 復習プリント集 東書 Web	持物	・教科書 ・筆記用具 ・ファイル・プリント類 ・定規 ・理科の自主学習（毎回必要ではありません。）
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○自然のさまざまな現象に興味・関心を持とう。 ○学習の目標をとらえ、授業は真剣に取り組もう。 ○ワークシートや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ☆実験や観察の結果をもとに 理由や根拠をはっきりさせ 考察をしよう。 ○宿題はもちろん、自分で課題を見つけ、家庭学習をしっかりとやろう。 ○ワークシートは工夫しながら記入しよう。 ○わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 《家庭学習》 ○ワークシート裏面の復習ノートはその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・ワークシートなどをもう一度見直す。（わからないところはそのままにしないでどんどん質問しよう） ○理科の完全学習、教科書などの問題を解いてみましょう。 《定期テスト》 ○テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○教科書・問題集などをよく見直し、十分に理解をしておこう。 ○問題練習をできるようにするまで、繰り返しやろう。 ○学習確認プログラムの学習計画を立て、しっかり勉強しましょう。		
学習の留意点	○教科書、ファイルは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○忘れ物をしないように、しっかり授業の準備をしよう。 ○理科室への移動はチャイムの鳴る前に完了しておこう。 ○授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ☆先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ☆自分の考えをまとめ、他者を意識してわかりやすく発表しよう。 ○実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具も使います。 先生の指示がある前から器具にふれないこと。また、実験中もふざけないこと。 実験を安全に行うために必ず守りましょう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	単元1 化学変化と原子・分子	1	知識・技能	○観察や実験の方法を正しく身につけているか。 ○図やグラフを工夫して作成することができたか。 ○自然に関するいろいろな用語の意味や観察・実験の方法などを正しく理解し、確実な知識として身につけ、適切に活用することができたか。 ○知識に関する問題を解くことができたか。
5	1章 物質の成り立ち			
6	2章 いろいろな化学変化 3章 化学変化と熱の出入り 4章 化学変化と物質の質量			
7	単元2 生物の体のつくりとはたらき	2	思考・判断・表現	○観察や実験のレポートをわかりやすく工夫して書くことができたか。 ○観察や実験に関する問題を解くことができたか。 ○学習した知識や考え方をもとに、課題に対して自分の考えを述べることができたか。
8	1章 生物をつくる細胞			
9	2章 植物の体のつくりとはたらき			
10	3章 動物の体のつくりとはたらき	3	主体的に学習に取り組む態度	○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。 発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。
11	単元3 電流とその利用			
12	1章 電流と回路 2章 電流と磁界 3章 電流の正体			
1	単元4 気象のしくみと天気の変化	4	主体的に学習に取り組む態度	○自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしているか。 発言や記述の内容、行動の観察などから状況を把握する。
2	1章 気象観測			
3	2章 気圧と風 3章 天気の変化 4章 日本の気象			

第2学年 音楽の学習

☆ 学習目標 ～音楽の学習で“めざす”こと

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。
(2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。
(3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。

☆ 学習を進めるに当たって

教材	中学生の音楽2・3上 中学生の器楽	持 物	教科書 ファイル イヤホン アルトリコーダー GIGA 端末
学 習 の 進 め 方	☆自分の考えやイメージ、課題を達成するために学んだことなどを言葉で表現できるようにする。 《確かな学力を身につけよう》 ○ 自分の考えやイメージしたことを、音楽を形作っている要素などの言葉を用いて表現し、他者に伝えて、考えを深めたり、イメージを広めたりする。 ○ グループ活動を取り入れ、他者の考えやイメージを共有することにより、自分の感受したものを深める。 ○ パート練習や合唱で、他者と合わせて歌うよさを感じとる。 ○ 創意工夫を生かした表現に必要な身体の使い方を工夫できるようにする。 《家庭学習》 実技の復習（リコーダー）を行うことを勧める。 《定期テスト》 ○ 実技テストは適宜授業時間中に行う。 ○ 定期テストは年間3回行う。		
学 習 の 留 意 点	音楽の学習においては「歌唱」や「器楽」そして「鑑賞」「創作」を通して、音楽のもつ美しさ、素晴らしさを感じ取ることが大切です。歌をうまく歌うこと、リコーダーをうまく演奏することだけが音楽の学習ではありません。常に自分の心で音楽と向き合ひましょう。さまざまな音楽との出会いが豊かな心を育みます。音楽は、自分を成長させ、生活を明るく豊かにものにすることができます。このような心構えをもって毎回の授業に臨みましょう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	・オリエンテーション 校歌	観察	知識 ・ 技能	授業の様子 ワーク 定期テスト 実技テスト 聴取テスト
5	・フーガ短調	レポート		
6	・夢の世界を	定期テスト		
7	・夏の思い出	観察		
8	・合唱の取り組み	観察 実技 ふりかえり		
9				
10				
11	・運命 ・琴	レポート		
12	・荒城の月 ・サンタルチア ・オペラ	実技 定期テスト 実技		
1	アルトリコーダー (ギターに変更の可能性あり)	レポート		
2	・歌舞伎 文楽 郷土芸能		定期テスト 実技 観察	
3	・卒業シーズンの歌			
			主体的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	授業の様子 ワーク 定期テスト 実技テスト 聴取テスト

第2学年 美術科の学習

☆ 学習目標 ～美術の学習で“めざす”こと

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようになろう。(知識・技能)
(2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と想像的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的に創造的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになろう。(思考・判断・表現)
(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む態度を培おう。(主体的に取り組む態度)

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 美術2・3 (光村図書)	持物	・教科書・筆記用具 (HB 以上の濃さの鉛筆またはシャーペン) ・アクリルガッシュセット・その他指示された準備物
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ☆年間目標→発展 (発想することを大切にして、技法を駆使して表現する。) ○考えること、メモを取ることを、発表すること、相談すること、話を聞くことなどを毎時間の授業を通して頑張ってみよう。 ○学習目標をとらえ課題を把握して、創造活動 (表現・鑑賞) に取り組もう。 ○学んできた知識や技能を使いこなしたり、試行錯誤を繰り返してあきらめずに取り組んだりできるようになろう。 ○学習を深めるために疑問や興味をもとに探究していく態度を身につけていこう。 ○GIGA 端末を使って、資料を探したり写真を保存したりして表現や鑑賞を深めよう。 《家庭学習》 ○授業で学習したことを振り返ったり、補完したり、次の授業につながることを準備したり、普段から思考する習慣を身につけよう。 ○日々の生活の中で感じとったことや考えたことを自分の感覚で自由に表現して自分の夢や憧れに近づける感性を磨いていこう。 ○身のまわりのものを美しさや使いやすさを感じたり考えたりして、形や色にこだわりを持ち、自分で評価したり選んだりできるようになろう。 ○身近に見る自然や風景などを人間の持っている五感 (視覚・触覚・味覚・臭覚・聴覚) を研ぎ澄ませて親しむ機会を意識して多くもとう。 《定期テスト》 ○テスト前に配布する学習プリントから全て出題する。テスト前に学習の時間もとるので、わからないことはその場で質問しよう。実技問題は当日あたふたしないように、あらかじめ学習プリントで練習する。当日、まったく同じ問題が出るので、時間内に表現できるようにしよう。 ○表現や鑑賞の活動も含めた毎時の授業で積み重ねた学習の振り返りをしていこう。絵を描く実技問題もあります。授業で使う HB 以上の鉛筆やシャーペンを用意してください。		
学習の留意点	○本鈴前に、必要な用具類、作品などを自分の席に用意しておこう。 ○普段の準備物は教科書と筆記用具ですが、アクリルガッシュセットや制作のための準備物など必要な場合は事前に連絡します。 ○制作は授業時間内に計画的に完成させましょう。もしできそうになれば相談してください。発想のヒントや役に立つ資料は放課後や家庭でも見つかるものです。授業以外でも思考する習慣をつけよう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法	
4	鑑賞 生活の中の形と色 対話型 形 コーヒーカップとティーカップの違い 色 白衣はなぜ白いのか。外科医はなぜ手術室が緑や青なのか	第2回	知識・技能	○形や色、材料などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、共通点や違いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 ○受け継がれてきた伝統や、工夫して使われてきた材料や用具の特性を理解している。 ○意図に応じて材料や用具を選び、表現方法を創意工夫し、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的にあらわしている。	●対話 ●発言やメモ ●技能 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
5 6	表現 社会で通用する和菓子の開発～新作和菓子の企画書から地域の店舗販売へ～ 制作 水彩画		思考・判断・表現	○時代を超えた表現の共通点や違いを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。 ○自分の感じたことをどう重ねてあらわすかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品がつくられた背景などをもとに、作者の思いや機能を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	●対話 ●発言やメモ ●構想や計画 ●制作物 ●定期テスト ●ワークシート ●レポート ●振り返り自己評価 ●ロイロノート
7	鑑賞 ゲルニカ・ピカソ	第4回		主体的に学習に取り組む態度	○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく鑑賞や表現の学習活動に取り組もうとしている。 ○時代を超えた表現の共通点や違いを考える鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ○自分の感じたことを重ねて表現したり、他者の表現の意図や工夫を感じたりする学習活動に主体的に取り組もうとしている。 ○地域の魅力が多くの人に伝わるようなデザインを考え、工夫してあらわす表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。
8	表現 郷土の風景画 or 静物画 or 生物画 or 空想画 制作 水彩画				
9 10 11 12	表現 白彫板 2WAY クロック 制作 レリーフ (半立体彫刻)				
1					
2 3	表現 墨流しの幽霊 制作 墨汁マーブリングからオリジナルお化けをつくる				

第2学年 保健体育科の学習

☆ 学習目標 ～保健体育科の学習で“めざす”こと

(1) 知識・技能
運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするために、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるよう。
(2) 思考・判断・表現
運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己の考えたことを他者に伝えよう。
(3) 主体的に学習に取り組む態度
運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を身に付けよう。

☆ 学習を進めるに当たって

教材	持物	必携
・新しい保健体育（東京書籍） ・新版中学体育実技（Gakken） ・3年間の保健資料ノート（正進社）		教科書、ノート、学習カード、筆記用具、学校指定の体操服 必要に応じて：水筒、汗拭きタオル、水着、柔道着
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 - 知識を生かした運動技能の習得や知識を生かした生活行動、生活習慣の改善など、知識と実践を結び付けて理解すると同時に振り返りを大切に、学んだことの価値を実感しよう。 - 学習カードやGIGA端末などを活用して学習の記録を振り返り、学び方を修正しよう。 - 独りよがりではなく、仲間と教え合い、ともに上達し、ともに楽しむことができる授業を目指そう。 - 自身の能力に応じて運動やスポーツに関わる方法を見つけ、実践しよう（する、みる、支える、知る など）。 - 他者の安全を大切に、用具の使用法や配置、片付け、運動をする際の方向や間隔、開始のタイミング、ルールの遵守など安全確保を常に意識しよう。 - 見学に際しては、話し合いに参加することや友達に助言をすること、審判をすること、授業内容をメモに残すことなど、できる限りで授業に参加し、学ぶ姿勢を大切にしよう。 《GIGA 端末の活用》 - 運動技能の習得に際して、運動の自己観察や他者観察の結果を有効に活用する手立てとして活用しよう。 - 課題解決に資する情報などを収集したり、比較したり、最適な解決方法を考えるために活用しよう。 - 身に付けた知識や技能を実生活に生かすための活用例を調べる際に活用しよう。 《家庭学習》 学習内容を実生活に生かしていこう。例えば、傷害を防止するために自身の行動の仕方を改善することや、生活習慣病につながる生活行動を避けること、自分たちの能力や現状に応じた運動やスポーツの学び方や行い方を考え、実践することに取り組もう。適宜、レポートに実践状況をまとめよう。 《定期テスト》 授業で取り上げた内容について、それらの意味の理解にとどまらず、状況に応じて適切に活用できるかを確認しよう。また、授業で取り上げた内容を自身の生活の改善に適切に生かすことができているかを確認しよう。授業で配布したプリントや板書内容を中心に振り返ろう。	
	・ベルと同時に授業を開始することができるように更衣や移動を済ませよう。 ・準備・片付けも授業に含まれることを理解し、全員が協力し、スピーディーに行おう。 ・健康上留意してほしいことを事前に教師に伝えるなど、自身の心身の安全確保に努めよう。	
学習の留意点		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
	実施時期は調整中 集団行動 体づくり運動 陸上競技（短距離走、リレー、幅跳び） バレーボール 水泳（クロール、平泳ぎ） 器械運動（マット跳び箱） ソフトボール 柔道 陸上競技（長距離走） アルティメット サッカー バスケットボール 上記の中から時期を調整し実施 ※保健「健康と環境」及び「健康な生活と疾病の予防③」は、各学期に適切なまとまりをもって配当する。また、体育理論（文化としてのスポーツの意義）は、各学期数時間程度ずつ配当する。	6月	知識・技能 学習した知識や技能を様々な場面に活用できるかたちで身に付けることができる。 《知識》 運動の特性、成り立、ルール／技術の名称／技術の行い方／伝統的な考え方（武道、ダンス）／その運動をすることで高まる体力／健康・安全の留意点／体育理論に関する内容 《技能》 基本的な技能（個人、集団）／自分の能力や体力に応じた技能／自分や仲間、チームの課題を解決する助けとなる技能	【知識】 - 定期テスト - ノート - 学習カード - レポート 【技能】 - 実技テスト - プレイ中の様子 - ロイロノート
		11月	思考・判断・表現 身に付けた知識や技能を課題解決のために有効に活用することができている。 よりよく運動に取り組むために自分（や仲間）の課題を見つけている／見つけた課題を解決するために運動の取り組み方を工夫している／目的に応じて運動の組み合わせ方などを工夫している／課題の解決について自分や仲間が考えたことを伝えている	- 定期テスト - ノート - 学習カード - レポート - 発言内容・学習への取り組み方
		2月	主体的に学習に取り組む態度 課題の解決に向けて、粘り強く試行錯誤しながら学習に取り組もうとしている。 《積極性・自主性》 その運動から得られる楽しさや喜びを捉え、それらを味わおうとしている／準備物や提出物の忘れがない／準備・片付けに協力し、貢献しようとしている／「めあて」達成に向けた種々の学習活動に意欲的に参加し、貢献しようとしている 《協力・責任・共生》 自分が受け持った役割を果たそうとしている／教え合いや助け合いなどを大切に、お互いに気持ちよく学びを深められるようにしようとしている 《公正》 ルールやマナー、フェアプレイを守ろうとしている 《健康・安全》 準備運動や整理運動を入念に行おうとしている／自分や仲間の体調の変化に気を配ろうとしている／用具の扱いや設置、運動する場所（間隔）など安全に気を配ろうとしている	- ノート - 学習カード - レポート - 発言内容 - 学習への取り組み方

第2学年 技術・家庭科（技術分野）の学習

☆ 学習目標 ～技術・家庭科（技術分野）学習で“めざす”こと

(1) 生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技術を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できるようになろう。（知識・技能）
(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けよう。（思考・判断・表現）
(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造していく態度を培おう。（主体的に学習に取り組む態度）

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 新しい技術・家庭科 技術分野（東京書籍） 授業配布プリント	持 物	・教科書 ・筆記用具 ・ファイルなど
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○ 教科書や資料を使って学習する場面では、しっかりと聞きましょう。 ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしよう。 ○ 説明など聞いたことを、作業の中で生かしていきましょう。 ○ けががないよう十分に注意しましょう。【安全第一】 ○ 作品を必ず提出してもらいます。最後までやりきろう。 G I G A端末を使って、資料を探したり写真などを保存したりして理解を深めよう。 《家庭学習》 ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 ○ 日常で行っている行動の中に、技術で教わった学習を生かそう。 《定期テスト》 ○ 教科書と学習プリントをしっかりと復習しておきましょう。 ○ 授業中に行った作業の内容をしっかりと覚えておこう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。		
学習の留意点	○ 忘れ物・ベル着ができないと授業に支障が出ます。注意しましょう。 ○ 聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。 ○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。 ○ 作業をとおして、知識もしっかりと身につけよう。 ○ 作品の完成が、第一目標です。必ずやりきろう。 ○ 習ったことは、生活に役立つよう、つなげていけるようにしていこう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価観点	評価場面・方法
4	・ペイントソフトを使って自宅付近の地図を描こう。	知識・技能 テスト	○育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解している。 ○電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。 ○ペイントソフトを使って自宅付近の地図を描くことができる。 ○情報を利用ための基礎的な仕組みを理解している。	●授業プリント ●観察 ●製作品 ●定期テスト
5	・生物を育てる技術について知ろう			
	・植物を育てる技術を知ろう			
6	・動物を育てる技術を知ろう			
	・エネルギー変換について知ろう			
7				
8	・電気を作る仕組みを知ろう	思考・判断・表現 テスト	○自宅付近の地図をペイントソフトのいろいろな道具を使って工夫して描くことができる。 ○エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○制作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	●授業プリント ●観察 ●製作品 ●定期テスト
9	・電気を供給する仕組みを知ろう			
	・植物や環境を観察して育成しよう			
10	・電気回路について考えよう			
11	・電気機器を安全に使用しよう			
12	・機械の運動を伝える仕組みを知ろう			
1	・プレゼンテーションソフトを使って修学旅行について調べたことを発表しよう。	主体的に学習に取り組む態度 テスト	○主体的に生物育成の技術について考え、理解しようとしている。 ○主体にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。 ○プレゼンテーションソフトを使って調べたことを工夫して発表しようとしている。	●授業プリント ●観察 ●発表 ●製作品 ●定期テスト
2	・プログラミング言語を学習しよう。			
3	・プログラミングソフトを使って簡単なゲームを作ろう。			

第2学年技術家庭科（家庭分野）

☆ 学習目標 ～家庭科の学習で“めざす”こと

(1) ・食事が果たす役割、中学生に必要な栄養、健康によい食習慣、栄養素の種類と働き、食品の栄養的特質、中学生の1日に必要な食品の種類と概量、1日分の献立作成の方法について理解する。また、食品や用具の安全・衛生な使い方、材料に適した加熱調理の仕方について理解するとともに、それらに係る技能を身に付ける。（知識・理解） ・衣服と社会生活との関わりについて理解するとともに目的に応じた着用、個性を生かす着用や衣服の選択について理解する。また衣服の計画的な活用や必要性について理解し、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについても理解し、製作する物に適した材料や縫い方について理解するとともに、製作ができる。（知識・理解） (2) ・健康によい食習慣、中学生の1日の献立、調理の仕方や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。（思考・判断・表現） ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方や、環境に配慮した生活を豊かにする布を用いた製作計画について問題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現する（思考・判断・表現） (3) ・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割、健康によい食習慣、中学生に必要な栄養を満たす食事、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする（主体的に学習に取り組む態度） ・衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、生活を工夫し創造し、実践しようとする（主体的に学習に取り組む態度）

☆ 学習を進めるに当たって

教材	教科書 ノート 授業配布プリント	持 物	・教科書・筆記用具・ファイルなど
学 習 の 進 め 方	《確かな学力を身につけよう》 ○ 家庭科に興味を持ち、前向きな姿勢で授業が受けられることが最も大切です。 ○ 技術家庭科のテーマは自立と共生です。授業で学んだことを生活に生かしていきましょう。 ○ 製作・実習ではけががないうちに十分に注意しましょう。 ○ 製作・実習は家庭科の楽しみでもあります。ものづくりの楽しさを感じ、粘り強く取り組み、完成させましょう。 ○ G I G A端末を使って、学習を効率よく進め、周囲の人と交流したりすることで、自分の学習を深めましょう。 《家庭学習》 ○ 授業で学習したことを、家庭等での生活の中で役立て実践しよう。 レポート課題や実践課題もあります。 《定期テスト》 ○ ノート、教科書、プリントを見て、実習の内容を思い出し、しっかり復習しておきましょう。 ○ ロイロノートに資料があれば、それも見ておきましょう。 ○ 授業で配布した学習プリント類は、ファイルに忘れず綴じておこう。		
学 習 の 留 意 点	○ 授業の用意を忘れずに持ってきてきましょう。ロッカーに置いておいてかまいません。 ○ 聞くとき、話し合うとき、意見を言うとき、考えるときなど、その場に応じて学習に参加しよう。 ○ 班の中で、一緒に考えたり協力したりして、良いものをみんなでつくりあげよう。 ○ 実習では手を動かす、感覚を磨くことも大切です。失敗を恐れず挑戦しましょう。 ○ 習ったことは、生活に役立つよう、つなげていけるようにしていこう。		

☆ 学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試 験	評価観点	評価場面・方法
4	食生活	知 識・ 技 能 テ ス ト	・食事が果たす役割について理解している。 ・中学生に必要な栄養について理解している。 ・健康によい食習慣について理解している。 ・栄養素の種類と働きについて理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 ・衣服と社会生活との関わりについて理解している。 ・目的に応じた着用、衣服の適切な着用、個性を生かす着用について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性について理解している。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 ・用具の安全な取り扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	●ノート ●プリント ●小テスト ●定期テスト ●実習技能 ●製作品 ●ロイロノート
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12	衣生活	思 考・ 判 断・ 表 現 テ ス ト	・栄養バランスの良い献立になるよう学習したことを生かして考え工夫することができる。 ・これまでの食の学習を生かし、自分の生活を見つめ、課題を設定し、評価・改善して発表ができる。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方や資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画や生活を豊かにするために布を用いた物の製作について、考え工夫し、問題解決に向けた一連の活動について考察したことを論理的に表現している。	●ノート ●定期テスト ●小テスト ●プリント ●レポート ●課題と実践 ●ロイロノート ●定期テスト
1				
2				
3				
		主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴や中学生に必要な栄養を満たす食事、日常食の調理について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理について、主体的に取り組もうとしている。 ・日常食の調理について、生活をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活の実現にむけて、衣服の選択と手入れや生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善しようとしたり、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	●観察 ●小テスト ●ノート ●プリント ●製作品

第2学年 英語の学習

☆学習目標

(1) (知識・技能)	
①英語の特徴やきまりに関する事項を理解できる。	
②はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を聞き取ることができる。	
(2) (思考・判断・表現)	
①日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の概要をとらえることができる。	
②日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。	
③日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。	
④日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を書くことができる。	
(3) (主体的に学習に取り組む態度)	
①外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができる。	
②話し手、聞き手、読み手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読み、英語を用いて伝え合い、英語を用いて書くことができる。	

使用教科書	教科書 NEW HORIZON English Course 2 (東京書籍) 副教材 ジョイフルワーク英語2年B (新学社)	持ち物	教科書 ジョイフルワーク ノート ファイル
学習の進め方	《授業》 ○積極的に挙手や発言をして、能動的に授業に参加しましょう。 ○間違えることを怖がらず、積極的に英語を使いましょう。 ○授業中、テストのヒントとなる情報がたくさんあるので、聞きもらさず、必ずメモを取ることをおすすめします。 ○授業を楽しみ、授業の最後に「心地よい疲れ」を感じましょう。		
	《家庭学習》 ○復習として、単語プリントやエイゴラボを使って、単語や表現を覚えましょう。 ○ノートづくりを復習として行うのではなく、予習として行うと効果的です。(予習でわからないところは、授業後に足していくのがおすすめです。) ○ノートに、教科書本文の内容に関する調べ学習を追加すると、教科を横断する知識を得ることができ、学習が深まります。		
学習上の留意点	《定期テスト》 ○教科書の内容を確実に確認しておきましょう。 ○授業中にメモをとっておくと、テスト前の学習にヒントとして役立ちます。 ○学んだ文法事項を使って、自分自身のことについて表現する練習をしましょう。		
	○相手の顔を見て、積極的にあいさつを交わしましょう。 ○英語でのペアワークやグループワークなどの活動に積極的に取り組みましょう。 ○ノートなどの提出期限を必ず守りましょう。 ○授業以外の時間でも、間違いを恐れず積極的にALTに話しかけましょう。		

☆学習内容及び評価について

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価観点		評価の場面・方法
4	Unit 0 My Spring Vacation	テ1	知識・技能	○ 読み書きを練習している。	言語活動、小テスト
5	Unit 1 A Trip to Singapore			○ 基本文の形、意味、用法に関する知識を身につけている。	定期テスト、小テスト
6	Let's Talk 1 Let's Listen 1 Unit 2 Food Travels around the World			○ 場面や状況にふさわしい基本的表現を知っている。	言語活動
7	Let's Talk 2 Let's Listen 2 Unit 3 My Future Job Let's Write 1 Stage Activity 1 A Message to Myself in the Future Let's Read 1 History of Clocks	テ2	思考・判断・表現	○ 英語を正確に読んだり話したり、書いたりできている。	言語活動
8	Let's Listen 3	テ3		○ 正しい英語の発音やイントネーションや区切りを用いて話すことができています。	言語活動 パフォーマンステスト
9	Unit 4 Homestay in the United States Let's Write 2 Let's Listen 4 Unit 5 Universal Design			○ スピーチの内容に気持ちをこめて音読できている。	パフォーマンステスト
10	Let's Talk 3 Let's Listen 5 Unit 6 Research Your Topic			○ 基本的な英文を聞いたり、読んだりして内容を理解できている。	定期テスト ワーク
11	Let's Talk 4 Stage Activity 2 Research and Presentation			○ まとまった文章を読んで場面の变化や登場人物の心情などを理解できる。	定期テスト
12	Let's Read 2 A Glass of Milk			○ 自然な口調の基礎的な英語を聞き取ることができている。	定期テスト ALTとの学習
1	Let's Listen 6 Unit 7 World Heritage Sites		テ4	主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の気持ちを伝えようとして英文を書いている。
2	Let's Talk 5 Let's Listen 7 Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	○ 外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。			レポート
3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	○ 本文の内容に興味を持ち、情報を読み取ろうとしている。			言語活動
		○ 相手の発話に興味を持ち、積極的に相手に質問したり答えたりしている。	言語活動		
		○ 主体的に英語で話されることを聞こうとしている。	定期テスト		
		○ 主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。	言語活動		
		○ 主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。	パフォーマンステスト 定期テスト		
		○ 主体的に英語を用いて書こうとしている。			